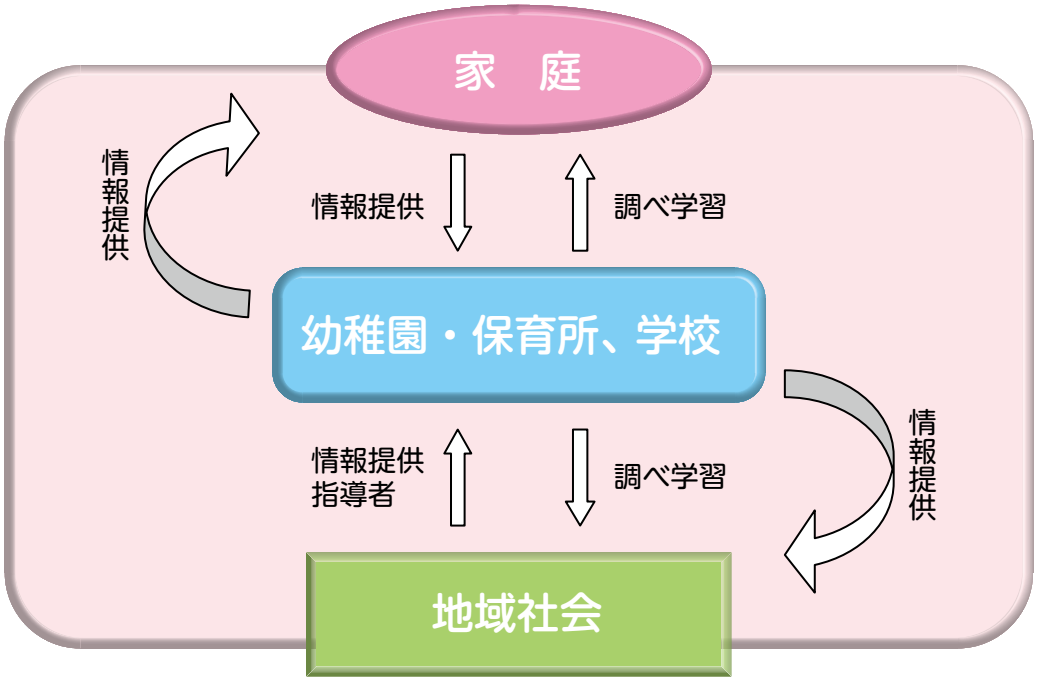
Ⅲ－5 家庭や地域と連携した環境学習

環境学習を推進するためには，環境と触れ合う場，そして，それに関して主体的に学習する場が必要です。特に環境問題や環境保全に関する活動については，日々の暮らしの中で意識的に取り組むことが重要であるため，家庭や地域社会との連携が欠かせません。

例えば，飼育・栽培活動，遠足，集団宿泊，美化活動などを通して，学校と家庭，地域社会とが一体となった活動を行うことが大切です。そのためには，学校での取組はもとより，それぞれの家庭，地域社会との相互補完の関係を築いていくことが必要です。

家庭や地域社会で経験し学んだことを学校での学習に生かし，また，学校で学んだことを家庭や地域社会の生活に生かすことが大切であり，学校と家庭や地域社会が，児童一人一人の環境への対応力を育成するために相互補完の関係となるよう連携を保っていくことが求められます。

また，青少年団体，PTA 等の社会教育関係団体をはじめ，町内会等の住民自治団体，地域の有志活動グループ，NPO 等を含めた地域の人々など，家庭や地域社会の教育力や人的資源を十分生かすような取組を進めていきたいものです。